

平成 21 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ 一 ダ ッ ト
 代 表 者 名 代表取締役社長 石橋 真一
 (コード番号 : 3841)
 問い合 わせ先 取締役経営企画部長 増山雅美
 電 話 番 号 03-5847-0312 (代表)

親会社等に関する事項について

1. 親会社の商号等

平成 21 年 3 月 31 日現在

親会社等	属性	親会社等の議決権所有割合 (%)	親会社等が発行する株券が上場されている証券取引所等
株式会社アルゴグラフィックス	親会社	51.6%	株式会社東京証券取引所市場第一部
セイコーインスツル株式会社	上場会社が他の会社の関連会社である場合における当該他の会社	21.3%	—

(注) 議決権の所有割合は自己株式(300 株)を控除して計算し、小数点第 2 位を四捨五入して表示しております。

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

名称	理由
株式会社アルゴグラフィックス	当社に対する議決権所有割合が 50% を超えており、連結子会社である。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

① 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係

株式会社アルゴグラフィックスは、当社の議決権の 51.6% を所有する親会社です。当社は親会社の企業グループの中で、唯一 EDA 製品の開発・販売・コンサルテーション事業を行っております。また、当社と親会社の企業グループとの間の取引は、当社製品の販売取引及び同社から商品仕入取引等がありますが、その金額・頻度とも非常に限られたものとなっております。

セイコーインスツル株式会社は、当社の議決権の 21.3% を所有しており、当社製品の販売取引及び同社への販売促進費の支払がありますが、その金額・頻度とも非常に限られたものとなっております。

(役員の兼務状況)

平成 21 年 6 月 17 日現在

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
社外取締役	藤澤 義磨	㈱アルゴグラフィックス 代表取締役会長執行役員 兼 CEO	経営者としての豊富な経験と高い見識が、当社のコーポレート・ガバナンスの一層の充実に有用と判断し、当社から就任を依頼。
社外取締役	伊藤 俊彦	㈱アルゴグラフィックス 執行役員	経営全般に助言をいただくことで、管理体制がさらに強化できると判断し、当社から就任を依頼。
社外取締役	伊藤 吉昭	セイコーインスツル(㈱) 執行役員	経営全般に助言をいただくことで、管理体制がさらに強化できると判断し、当社から就任を依頼。
監査役	中村 隆夫	㈱アルゴグラフィックス 執行役員	監査体制の一層の充実をはかるため、当社から就任を依頼。

② 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社は親会社等の企業グループの中で、唯一 EDA 製品の開発・販売・コンサルテーション事業を行っており、各グループ内での取引も極めて限られたものであります。

また、事業活動を行う上での承認等に関しても制約は全く受けておらず、独立した経営を行っております。

③ 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等がある中における、親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社は親会社等の企業グループの中で、唯一 EDA 製品の開発・販売・コンサルテーション事業を行っており、各グループ内での取引も極めて限られたものであることから、当社の自由な事業活動を阻害する状況にはないと考えております。また、当社取締役 7 名のうち親会社等の兼務取締役は 3 名であり、その就任も当社からの要請に基づくものであることから、独自の経営判断が行える状況にあると考えております。

④ 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

親会社等の企業グループとの事業の棲み分け、親会社等兼務取締役の就任状況等から、独自の経営判断ができる状況にあると判断いたしております。

4. 親会社等との取引に関する事項

平成 21 年 3 月期におきましては、開示を要する重要な親会社等との取引はありません。

以 上